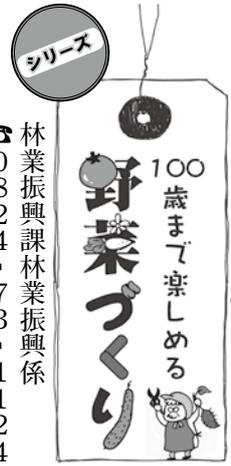


私にもできる獣害対策



林業振興課 林業振興係
☎0824・73・1124

山の田畑の楽しさアップ(その8)

先月は、獣害対策は10月が年度初めというお話をしました。今回は獣害に強く、行くのが楽しい畑づくりの下準備ですよ。

今月の豆知識

〜来年役立つ目印作戦〜

獣害対策の基本は「柵の内外両側に背筋を伸ばして歩ける何も植えないゾーンを作る」でしたよね。

冬は、守れる畑づくりの絶好のチャンス。なので、その前にやっておきたいのが目印作戦です。

●キウイのジャンゲル解消

太いツルが絡まりながら生い茂ってジャンゲルになったキウイフルーツ。これでは、イノシシやクマが安心できる物陰にすぎません。でも、冬の剪定で低樹高の管理しやすい柵栽培に変身が可能。その作業はどれが雌株でどれが雄株か分かってないときもありません。そこで、今の間に果実がついている枝を株元までたどって布かテープを巻き、マジックでメスと書いた目印を付けてください。剪定方法は次回のお

楽しみ。

●おーい、芋はどー！

さて、せっかく何も無いゾーンを作ったはずなのに、春になるとキウイモ、コンニャクなどが生えて柵の設置の邪魔になります。キウイモは枯れた茎が残っているのを冬に掘つてもいいですが、ヤマイモ、コンニャクは地上部が消えてしまい、どこを掘ればいいのか分からないことがありますよね。今のうちに青や白の骨資材の弾性のあるもの(小トンネルの骨資材の弾性のあるもの)を立てて、掘り起こしの目印しておきましょう。

●獣を寄せる枝にもビニールテープ

カキやミカンなど、着果したときに果実が柵に接近しすぎている枝。収穫した後は枝が跳ね上がって、ついつい切るのを忘れがちに位置に戻ってしまいます。そんな、枝元から切った方がよい枝にもテープで目印をしておきましょうね。

(近畿中国四国農業研究センター井上雅央)



安心・安全な毎日のために

庄原警察署 ☎0824・72・0110

交通事故死者の半数以上が高齢者です！

本年9月末現在、広島県内で交通事故で亡くなった方は75人で、その内高齢者は半数以上の42人、庄原市内でも1人の方が亡くなっています。

例年、日暮れが早まるこの時期から交通事故が増加します。

次のことを実践し、高齢者の方は交通事故から我が身を守り、高齢者以外の方は交通事故から高齢者を守りましょう。

歩行者

●死亡事故のほとんどが道路横断中！

・横断歩道があれば必ず横断歩道を横断し、遠回りでも横断歩道を利用する。

・横断前に確実に左右を確認する。

・駐車車両や物陰から横断しない。

・車両通過の直後に横断しない。

・横断中も周囲の状況を確認する。

・最短距離で横断し、斜め横断しない。

●夕暮れ・夜間は反射材などを活用

歩行中に交通事故で亡くなる高齢者の半数以上が夜間です。夜間は昼間と比べ、高齢者の死亡率が3.7倍高くなっています(日25年7月末データ)。
・反射材を着用し、ライトなどを活用。
・服装は夜間でも視認性の良い白、黄など明るい色のものを着用する。

運転者

道路や交差点を横断しようとする歩行者を見かけたなら、必ず停車し、横断者を優先させ、特に高齢者や子どもには思いやりのある運転を。

●市内の交通事故の特徴

道路を走行中に単独事故を起こす場合が最も多く、次いで多いのが追突となっています。

このような事故は、運転者が前をよく見て、道路状況に応じた安全・適切な速度で運転していれば防げたものです。常に適度な緊張感を保って運転しましょう。

●確実なシートベルトの装着を

事故が発生した際、大切な命を守るのがシートベルトです。適切な方法で確実に装着しましょう。シートベルトを装着していないとエアバックが作動しても効果がない場合や、逆に重大な被害に遭うことがあります。

同乗者

助手席や後部座席でもシートベルトを装着しなければなりません。装着していないと事故が起きた際、自分の被害が大きくなるだけでなく、前席の人を傷つける場合があります。